

単独処理から合併処理へ切り換えましょう

～きれいな川と海を目指して～ 図：水道部 下水道課 ☎050(3381)5071

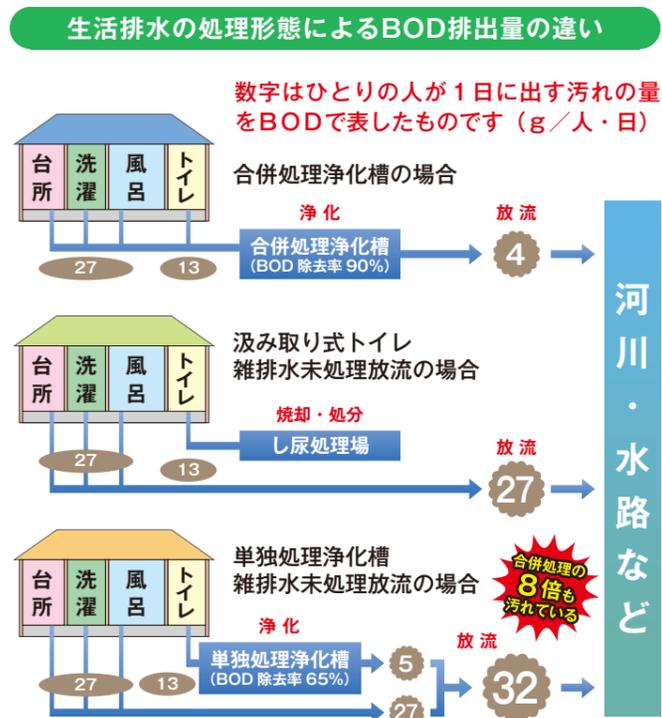
川や海の汚れの大きな原因は、私たちの家庭から流れる生活雑排水（台所やお風呂、洗濯などの排水）と言われています。

一人が一日に、どれくらいの汚れを川や海に流しているのかを“BOD”^{*}という水質指標を用いて表すと、合併処理浄化槽の家が「4g」、汲み取り式トイレの家が「27g」、単独処理浄化槽の家が「32g」となっています。

これは、生活雑排水を処理しないまま（＝汚いまま）流してしまうため、合併処理浄化槽の家の水と比較すると、汲み取り式トイレの家で「約7倍」、単独処理浄化槽の家で「8倍」も汚れています。

市では、川や海の汚れを少なくし、トイレの水洗化による生活環境改善を図るため、合併処理浄化槽の設置補助金を交付しています（下水道認可区域などを除く）。また、今年度から単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切替を促進するため、単独処理浄化槽の撤去費用（限度額90,000円）を補助金に上乗せして交付しています。

検討している人は、お気軽にお問い合わせください。



^{*}BODとはBiochemical Oxygen Demand（生物化学的酸素要求量）の略。水の中の有機物（汚れの原因）を微生物（好気性微生物）が分解するのに使った酸素の量のこと、水の汚れを示す代表的な指標です。BODが高いとその水が汚れているということになります。「微生物がたくさん酸素を消費した」⇒「水中に有機物が多く含まれている」⇒「汚れた水」という理論を利用した水質指標です。

●浄化槽設置補助金

人槽	補助金額	人槽の算定条件
5人槽	332,000円	住宅の延べ面積が130㎡以下の場合
6～7人槽	414,000円	住宅の延べ面積が130㎡を超える場合
8～10人槽	548,000円	二世帯住宅の場合
11～20人槽	939,000円	店舗併用住宅、事務所など、その建物の用途により算定
21～30人槽	1,472,000円	
31～50人槽	2,037,000円	

●単独処理浄化槽撤去補助金（上乗せ補助）

撤去に係る経費（限度額90,000円）

*使用開始後30年以内のもの（腐敗タンク方式または長期間ばっ気方式は除く）

●交付希望申込期限

12月28日(月)

※下水道認可区域、農業集落排水処理区域、コミュニティ・プラント処理区域およびその他市長が特に指定する区域には補助金の交付はできません。

※予算や算定条件、地域などで制限がありますので、必ず事前にご相談ください。

※補助金については、平成21年度予算の範囲内で交付します。

※申請年度中（翌年3月中）に設置工事が完了するものに限りです。

市長と語る市民協働のまちづくり懇談会

市長 私自身も、実は市の象徴的なまつりやイベントができないかと考えています。たとえば、原城マラソン。距離を延ばし、全市をあげた2万人規模のイベントにならないか検討しています。

「奇手見遊会」賛成です。そのためにも今日集まったメンバーでの協議を今後も継続することはとても大切だと思います。一方で、統一イベントを行うとすると、それを受け入れる場所（会場や駐車場）の問題もありますので、まずは、お互いのイベントに応援に行くところから始めてはいいかでしょうか。

「ありえ蔵のまち保存会」昨年、加津佐町の広域農道沿いに南笑会で3畝程度植えました。ひまわりロードとして市内一円つながればよいと思います。

「みそ五郎倶楽部」私たちの会の中で、ひまわりの種から油を絞って、それをそうめん



「ひまわりの植栽」みそ五郎倶楽部 市の花「ひまわり」が、原城に植えてあると聞いて見に行きました。同様な活動をしている団体もありますので、こうした活動を点から線としてつなぐことも市としては必要だと思います。また、植栽時期や花が咲く時期は、みんな一生懸命になります。が、その後の片付けがされていないところが多いですね。放置したままでは見た目も汚いので、何とかしなければいけないと思います。

「油に使うアイデアが生まれた。花を咲かせるから次につながる施策が必要ではないでしょうか。一過性とならないためにも行政の協力が必要だと思います。」

「歓皆の会」油を取るひまわりの花は、観賞には向きませんが、ひまわりは1年中花を咲かせることができますので、観賞用・油取り用と、場所を決め、計画的に植えればよいと思います。

市長「閉会挨拶」活発な意見ありがとうございました。何かが始まる予感を感じさせる懇談会でした。また、そうしなければならないと思います。皆さんの取り組みとおして、まちづくりに対しての熱い思いを確かに受け取りました。皆さんにとっても自分の団体の参考になったのではないかと考えています。お互いに協働をすすめるながら、すばらしい南島原市を目指していきたいと思えます。今後もこうした機会を設け、市政に反映したいと考えています。

本日は、長時間ありがとうございました。

懇談会の結果を受けて

市では、今回の懇談会の結果をあらためて協議し、できることから始めています。今回、要望にあった「まちづくりグループの連携」についても、すでに準備を進めています。

みそ五郎倶楽部（西有家町）



主な活動は、みそ五郎にちなんだ探訪コースづくりやそうめんのルーツ探し、みそ五郎まつりへの参加など、地元でこだわった活動を続けて22年になります。そうめん細工は、ふるさとの特産「そうめん」で、地元ならではのものをと企画。大相撲の島原巡業の際、当時大関の白鵬関にそうめんで作った化粧まわしをプレゼントをしたこともあります。

夢みこし担ぎ隊（加津佐町）



主な活動は、「夢・手づくりふれあい祭り」に、手造り御輿を作るだけでなく、担ぎ手としても参加。地場の若者による手づくりのまつりを目指しています。現在は、子ども御輿を制作し、2体の御輿をシンボルとして活動しています。3年前には、大規模な流木漂着時の流木の清掃を行うなど、社会貢献活動も行っていきます。

ふつ皆CLE倶楽部（布津町）



主な活動は、こんぴら公園祭、生き生きサマーフェスタ in ふつなどのイベントの企画、運営です。約20年前に青年団、無双太鼓の仲間、商工会青年部などを中心に結成。当初は、「生の芸術」の良さを知ってもらおうと、三味線やギターの演奏者、落語家などを呼びいろいろな文化的な活動を手掛けてきました。普賢岳災害ボランティア活動も行ってきました。

